



ひびき 南山田小学校だより

Letter of the M.Y. elementary school

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.281

令和 元 年度 6月号

令和 元 年 5月 31日



～ 子どもたちの学びと

クローバーとカタバミ ～

校長 佐藤 康晴

元号も、「平成」から「令和」へと変わり、早ひと月が経ちました。5月に入り、子どもたちの学習も教室を離れ、歴史博物館や資源循環局都筑工場見学、ゾーラシアバックヤード見学、DeNA ベイスターズさんの特別授業、マリノスさんによる食育授業、都筑警察署による交通安全教室など様々な学習が行われました。実際に見て触れられるもの。教えて頂き、一緒に活動するものと、子どもたちにとって、その一つひとつが大きな学びの場になったことと思います。

私は、2年生の子どもたちと一緒に、ゾーラシアに行って来ました。園内では、象のバックヤード見学をし、どんなものを食べているのか、また実際の象の糞（ニスでコーティングされています。）に触れたり、通常の見学コースでは見ることのできない動物園の裏側で働く飼育員さんの仕事や動物の生態を学ぶことができ、貴重な経験をすることができました。

6月には、4年生の愛川宿泊体験学習を始めに、6年生の日光修学旅行、7月には5年生の御殿場宿泊体験学習と宿泊行事があります。どの学習にも、子どもたちが中心になり、実行委員会を立ち上げ、しおりの作成や、ルール作りなどに取り組んでいます。きっと、子どもたちの中では、もう旅は（宿泊学習）始まっているのでしょうね。

神無門で、いつもの様に子どもたちを出迎えていたら、2年生の女の子が、「校長先生にこれあげる」と言って、道すがら摘んできた可愛い花をプレゼントされました。白い花、黄色い花、ピンク色の花など、色々な可憐な花がありました。この日は、とても嬉しい気分を一日を過ごせました。次の日、駅から続く緑道を歩きながら、昨日いただいた可憐な花は何処にあるのだろうと、いつもよりも気を付けて辺りを見渡していると、シロツメクサ（クローバー）の群生を見つけました。シロツメクサは、江戸から明治にかけて、梱包材や牧草として外国から持ち込まれた帰化植物です。土を肥え豊かにする性質もあり、蜂蜜を採る際の蜜源植物としても広く分布していったそうです。私は、カタバミのことを思い出し、学校までの緑道を丹念に見て歩いたのですが、不思議なことに、カタバミは殆ど見つけることが出来ませんでした。

カタバミは、シロツメクサとよく間違われる野草ですが、日本では、シロツメクサより歴史は古く、多くの武家から、繁殖力が強く、根強いことから「絶えることなく家を守る」と言われ大事にされてきました。五大家紋の図柄として今も使われています。又、生薬として消炎・解毒などに使われていたそうです。カタバミはあまり見つけられませんでした。地球を豊かにする植物として緑化資材にも用いられているシロツメクサや可憐な花たちに見守られて、今日も多くの子供たちが元気に登校してきます。今月も、保護者の皆様並びに地域の皆様と共に、南山田の子どもたちを育てていきたいと思っております。どうぞ、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。